

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	災害復旧事業（備前）	コード	担当課係	都市整備課 土木係
		01-03-01-07	担当者	小川 勝巳
事業実施期間	H17		電話	0869-64-1835
総合計画 事業（政策）体系	大項目	安心で快適に暮せるまちづくり		
	中項目	災害に強いまちづくり		
	小項目	河川改修・砂防施設整備		
	施策	市管理河川の改修整備		

事業について	
目的	台風等の豪雨、高潮により被災した河川、道路等を復旧する。
対象（誰のために）	道路及び河川の被災箇所
内容	道路及び河川の被災箇所を早急に復旧する。

事業の結果				
実施項目	17年度			
	回数など	(単位)	回数など	(単位)
工事箇所数(補助)	13	箇所		
工事箇所数(単独)	19	箇所		
合計	32	箇所		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	76,533	国庫補助金等	40,525	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	5,053	受益者負担	0	人件費		受益者負担	
	合計	81,586	一般財源等	5,053	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.79	人		人
結果指標名	工事箇所数			
結果指標量	32			
単位	箇所			
対前年比	—			
事業費	81,586,000	円		円
単位当たりコスト①	2,549,563	円		円

結果指標名	工事箇所数			
結果指標量	32			
単位	箇所			
対前年比	—			
事業費		円		円
単位当たりコスト②		円		円

事業の成果			
成果指標名	早期復旧した箇所数(復旧率)	式又は説明	翌年度でまでに復旧した箇所数 被災箇所数
成果指標量	17年度 100%		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	100%	到達目標年度	被災年及び翌年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等：公共土木施設災害復旧事業 国庫負担法、地方債許可方針
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報を提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

河川・道路等の被災箇所の復旧事業であり、安心で快適に暮せるまちづくりには、必要不可欠な事業である。また国庫負担法や地方債許可方針により3ヶ年以内に復旧しなければならない。

国庫補助事業や一部起債事業であるため、査定、審査等の事務手続きがあり、事業着手までに時間を要している。また、緊急箇所及び復旧順位を検討しなければならない。

被災箇所の復旧工事については、全て完了している。

総合評価	
コメント	財政難の中、当事業は100%国庫補助事業や起債事業ではなく、一部市費の負担もあることから、保全対象を検討した上、事業を進めていく必要がある。
評価区分	<A~E> <b>B</b>

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度結果指標量①	早期復旧した箇所数(復旧率)	結果指標量②
目標値	成果指標量	100%

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	保全対象又は被災程度による復旧箇所の検討	H17~	家屋・農地への直接的な被災防止